



病院における原価計算とは

K-on Co.,Ltd
Hyper-Medical-Conception

JDK

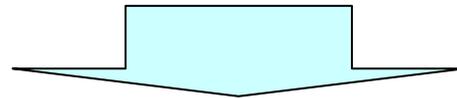


株式会社 クオン
自治体病院共済会
東日本税理士法人



なぜ原価計算なのか？

- 病院では収益はレセコン等で把握できる
しかしながら、
その収益に係った原価は把握できていない。



そこで「原価計算」により「病院原価」を
算出する必要が出てくる。

- ※ 診療行為により生じる原価とは
材料費…薬品費、診療材料費など
人件費…医師給、看護師給など
経 費…委託費、減価償却費など

原価を把握することにより様々な 原価計算ができる



- ① 原価を診療科別に把握
→診療科別原価計算
- ② 原価を患者別に把握
→患者別原価計算
- ③ 原価を疾病別に把握
→疾病別原価計算

①の「診療科別原価計算」の習熟が最優先

原価を把握するために



① 材料費を把握

→薬剤や診療材料の発生元をすべて把握するのはシステムで管理することが必要

② 人件費を把握

→給与管理システムとタイムスタディーで診療科別実績を把握

原価計算を実施するために



原価は病院の全部署で発生している

→調査範囲が病院の全部署に及ぶため

①プロジェクトチームを編成することにより、作業効率はアップされる

(メンバーは調査内容に応じて各部門より選出)

②院長、理事長の原価計算に対する強いリーダーシップが絶対条件

原価計算を導入すると



◎診療科別原価計算

- 不採算の診療科が浮かび上がる
- その診療科にターゲットを絞ることにより病院全体の利益改善が効率よくできる

◎疾病別原価計算

- DPCを導入している場合コスト削減に有効
- 疾病ごとの「原価」がわかる
- クリニカルパスが必須